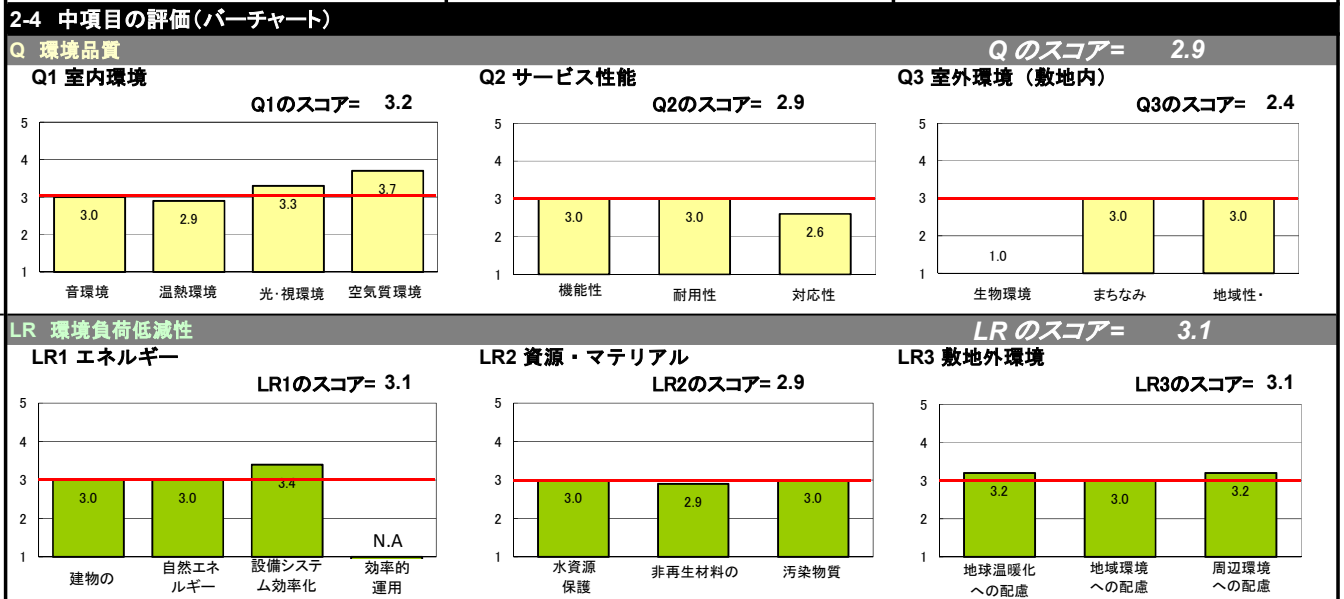
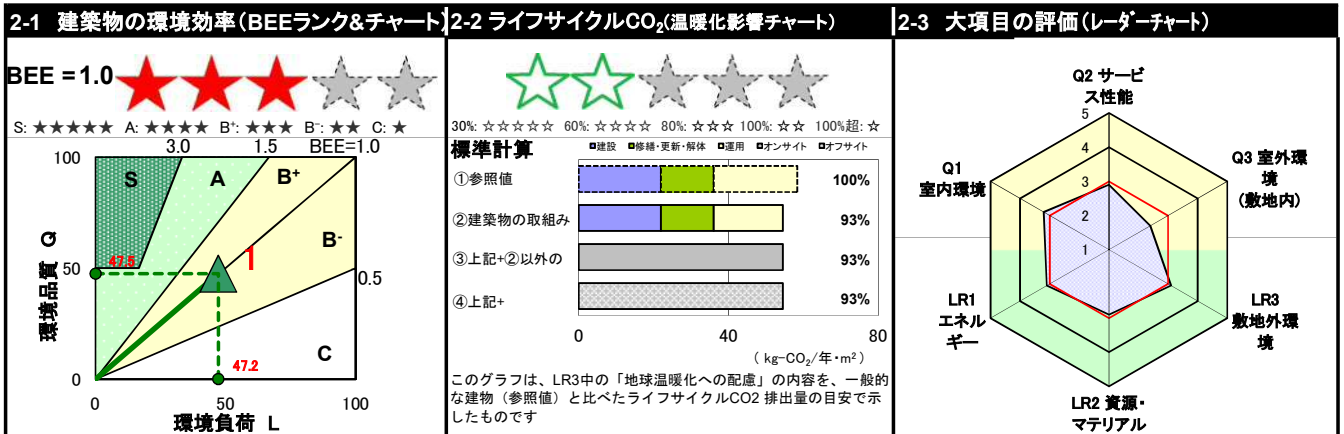


## 川崎市建築物環境配慮制度受付番号 14046

建築物名称	ガーラ・グランディ川崎榎町
建築主	株式会社エフ・ジェー・ネクスト 代表取締役 肥田 幸春
建築物の所在地	川崎市川崎区榎町9番11、9番17、9番21
設計者氏名、建築士事務所名	朝倉 崇夫 株式会社朝倉崇夫都市建築設計事務所 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	2,585.82m <sup>2</sup>
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上14階
工事完了年月	平成28年6月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ガーラ・グランディ川崎複町	階数	地上14F
建設地	川崎市川崎区複町9番11、9番17、9番21	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	98人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 竣工	評価の実施日	2014年10月17日
敷地面積	676 m <sup>2</sup>	作成者	朝倉崇夫
建築面積	239 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,586 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



CASBEE-川崎2011 (v.1.2)

ガーラ・グランディ川崎駅前

14046

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
<b>緑の保全・回復(G)</b>		<b>Gの平均点</b>	<b>2.7</b>
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	空地を積極的に緑化する事により、景観に配慮した 空地を積極的に緑化する事により、地表面温度の上昇を抑える	2.0/4.3	2.3
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	室外機はファンを利用した空冷とする。	0.5/0.8	3.0
<b>地球温暖化防止対策の推進(W)</b>		<b>Wの平均点</b>	<b>2.8</b>
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.3 外皮性能 3 3.1 3.1.3 屋光利用設備 3.2 3.2.2 屋光制御	居室にカーテンおよびベランダを配置する事で、屋間光の制御を行う。	4.3/6.5	3.3
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	IV2)水湿を好む常緑植物であり最低限の日照でも生育可。 V1)散水栓を設けて管理人がメンテナンスを行う。 空地を積極的に緑化する事により、地表面温度の上昇を抑える	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	各住戸にバルコニーを設け室内の日射取得を抑え、また外壁を外断熱とした 共用部にはタイマー式制御の照明設備を設置	3.2/5.0	3.2
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 フロン・ハロンの回避	乾式置床下地:パーティクルボード	2.7/4.6	2.9
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	室外機はファンを利用した空冷とする。	0.5/0.8	3.0
<b>資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)</b>		<b>Rの平均点</b>	<b>3.0</b>
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	JISR5210ポルトランドセメント使用、最小かぶり厚の確保。	0.3/0.5	3.0
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減		2.3/3.9	2.9
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.3/0.4	3.3
<b>ヒートアイランド現象の緩和(H)</b>		<b>Hの平均点</b>	<b>2.6</b>
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	空地を積極的に緑化する事により、地表面温度の上昇を抑える	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	各住戸にバルコニーを設け室内の日射取得を抑え、また外壁を外断熱とした 共用部にはタイマー式制御の照明設備を設置	3.2/5.0	3.2
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	室外機はファンを利用した空冷とする。	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.8**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
<b>建設段階</b>			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	JISR5210ポルトランドセメント使用、最小かぶり厚の確保。	0.1/0.1	3.0
<b>修繕・更新・解体段階</b>			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の再利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.8/1.4	3.0
<b>運用時のエネルギー</b>			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	各住戸にバルコニーを設け室内の日射取得を抑え、また外壁を外断熱とした 共用部にはタイマー式制御の照明設備を設置	3.2/5.0	3.2

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

CASBEF-川崎2011年版						欄に数値またはコメントを記入				14046
ガーラグランディ川崎ビル										
スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.40			3.2
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル						3.0	1.00	3.0	0.50	
2 設備騒音対策								3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温						3.0	0.63	-	-	
2 負荷変動・追従制御性						-	-	-	-	
3 外皮性能		W				3.0	0.38	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御						-	-	-	-	
6 個別制御						-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮						-	-	-	-	
8 監視システム						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 屋光利用						3.0	0.30	3.0	0.50	
1 屋光率						3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.50	
1 照明器具のグレア						-	-	-	-	
2 屋光制御		W			居室にカーテンおよびベランダを配置する事で、昼間光の制御を行う。	3.0	1.00	4.0	1.00	
3 映り込み対策						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆の仕上を70%以上使用している	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策						-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等						-	-	-	-	
4 レジオネラ対策						-	-	-	-	
4.2 換気						3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					居室面積に対して大きな開口部を設け、十分な自然換気を行えるようにした。	3.0	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画						-	-	-	-	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	

Q2 サービス性能										
<b>1 機能性</b>										2.9
1.1 機能性・使いやすさ										3.0
1.2 心理性・快適性										3.0
1.3 維持管理										3.0
<b>2 耐用性・信頼性</b>										3.0
2.1 耐震・免震										3.0
2.2 部品・部材の耐用年数										3.0
2.4 信頼性										3.2
<b>3 対応性・更新性</b>										2.6
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>										2.4
1 生物環境の保全と創出				G	W		H			1.0
2 まちなみ・景観への配慮				G						3.0
3 地域性・アメニティへの配慮										3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上										3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W		H			3.0

LR 建築物の環境負荷低減性										3.1
LR1 エネルギー										3.1
1 建物の熱負荷抑制				W		H				3.0
2 自然エネルギー利用										3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				W		H				3.0
2.2 自然エネルギーの変換利用				W		H				3.0
3 設備システムの高効率化				W		H				3.4
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)										3.0
集合住宅の評価										3.4
4 効率的運用										-
4.1 モニタリング				W		H				3.0
4.2 運用管理体制				W		H				3.0
LR2 資源・マテリアル										2.9
1 水資源保護				W		R				3.0
1.1 節水										3.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用										3.0
1 雨水利用システム導入の有無										3.0
2 雑排水等利用システム導入の有無										3.0
2 非再生性資源の使用量削減										2.9
2.1 材料使用量の削減				W		R				2.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用				W		R				3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				W		R				3.0
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				W		R				1.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材				W		R				2.0
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				W		R				5.0
3 汚染物質含有材料の使用回避										3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用										4.0
3.2 フロン・ハロンの回避										2.6
1 消火剤				W						2.0
2 発泡剤(断熱材等)				W						3.0
3 冷媒				W						3.0
LR3 敷地外環境										3.1
1 地球温暖化への配慮				W						3.2
2 地域環境への配慮										3.0
2.1 大気汚染防止										3.0
2.2 温熱環境悪化の改善				G	W		H			3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制										3.0
1 雨水排水負荷低減						R				3.0
2 汚水処理負荷抑制						R				3.0
3 交通負荷抑制						R				3.0
4 廃棄物処理負荷抑制						R				3.0
3 周辺環境への配慮										3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止										3.0
1 騒音										3.0
2 振動										-
3 悪臭										-
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制										3.0
1 風害の抑制										3.0
2 砂塵の抑制										3.0
3 日照阻害の抑制										3.0
3.3 光害の抑制										4.4
1 昼間照明及び屋内照明のつら外に漏れる光への対策										5.0
2 昼間の建物外壁による反射光(グレア)への対策										3.0

14046

## ガーラ・グランディ川崎榎町

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る  
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に  
基づいています。